

感謝や社会への主張

公益社団法人和歌山県
青少年育成協会と東牟婁
地方青少年育成県民運動
推進委員連絡協議会主催
の「少年メッセージ20
19 東牟婁地方予選会」

少年メッセージ2019東牟婁地方予選会

発表した生徒



が1日、新宮市の県東牟婁総合庁舎で行われた。今回は852人の応募があり、選ばれた中学生16人が、周りへの感謝や社会への主張など自分の意見を発表した。

審査の結果、優秀賞は深海六花(串本西3年)さん、岡野明音(西向2年)さん、奨励賞は本間陽季(熊野川3年)、吉山明咲(太地3年)、坂井美優(潮岬2年)さんが受賞した。

東牟婁地方の青少年が何を考え、どのように生きようとしているのか。将来に向けてどのような夢や希望、真摯な思いを持っているのか。中学生の清新で建設的な意見発表を通じ、青少年少女に対する理解を深めるとともに、郷土の未来を担う若い世代の育成を図ることが目的。

少年メッセージ東牟婁予選

優秀賞をとった深海さんは「幸せの創造」と題し、いじめについて語った。いじめの経験があり、転校したことで解

消。「命は一つだけ、人生は一度きり、たった一度きりの人生を自分のために使いたい」と述べた。将来は研究者になり、少しでも人を幸せにできる研究をしたいと決意を新たに

した。岡野さんは「夜空に輝く星を見上げて、父への想い」について。1年前に父が亡くなったことで、当時反抗的な態度をとったことを反省。些細な事でも感謝することが大事と述べた。当たり前などない、感謝の気持ちを大切に生きていきたいと夜空の父へ語った。アトラクションでは、緑丘中学校吹奏楽部がGreenの「キセキ」

や、宇宙戦艦ヤマト、DAPUMPの「U.S.A.」を披露。その他楽器紹介やソロ演奏を行い、きれいな音色を響かせた。

審査終了後山田貴也審査員長は「どの発表も素晴らしい。優秀賞、奨励賞をとった人はお疲れさまです。また、県大会に向けて頑張ってください」と述べた。

深海さんは「練習では2、3回やり直しすることが多かったが本番はうまくできた。名前を呼ばれると幻のように感じた。県大会では、原稿を読まずに気持ちを込め、ベストを尽くせるようにがんばりたい」。

岡野さんは「うれしくて驚いた。練習では噛んだり、制限時間を過ぎてしまったということが多い。県大会では、原稿をすべて覚え、感情を込めて出し切りたい」と語った。(香川真夕)

発表した生徒は次の皆



緑丘中学校の演奏

さん。発表順、敬称略。

溝口 心(高田3年)
深海 六花(串本西3年)
十河 りつ(那智3年)
本間 陽季(熊野川3年)
寺地 鷗(下里2年)
吉良 和子

(近畿大学附属新宮1年)
安部 芽(緑丘3年)
藤崎 育(串本3年)
鈴木 明正(宇久井3年)
吉山 明咲(太地3年)
山田有里菜(城南2年)
石倉 結衣(古座3年)
坂井 美優(潮岬2年)
栗林 杏圭(明神1年)
芝崎 玲奈(光洋3年)
岡野 明音(西向2年)